



「知財とキャリアの開発」セミナー&ワークショップ

2024/11/16 (土) 12:00 開場 12:30~18:00

於：筑波大学 第3エリア 工学系E棟404教室 (つくば市天王台1-1-1 第3エリア)

E棟マップ：<https://maps.app.goo.gl/fzjhanqMy6RZYcfu6>

主催：筑波大学 システム情報系 社会工学域 (企画運営：有馬澄佳研究室)、協賛：川島宏一教授.

***備考：昼食は済ませてから来場下さい。セミナーだけご参加も可能。土曜のご参加ありがとうございます！**

***お願い：以下のWebフォームから事前参加登録をお願いします。(登壇者・主催等以外)**

参加登録フォーム：<https://forms.gle/rStex9yFTqiKG4fx6>

I部. 12:30-15:00 セミナー (2時間30分)

1. 有馬：はじめに-趣旨と予定等 (20分) (12:30-12:50)

2. 「知財財産の基礎とキャリア開発、スタートアップ」(60分) (12:50-13:50)

尾内敏彦氏 (Tera-eyes 技術研究所 代表 (技術士・弁理士). 東海大学 教授
元・キヤノン株式会社, 元・筑波大学 国際産学連携本部)

Q&A (10分) (13:50-14:00)

休憩 (10分) (14:00-14:10)

3. つくばを代表する研究所 発ベンチャーに学ぶ! (30分+QA10分) (目安 14:10-14:50)

「NIMS 研究、ベンチャー、そして未来へ ~「においを測る」文化を創る」

今村岳氏 (代表 (株) Qception、物質材料機構 (NIMS))



尾内先生

<https://www.cca.jp/cs/cs207.html>



今村様

<https://qception.co.jp/index.php/message-mfrom-ceo/>

予備・全体への Q&A (10分) (14:50-15:00)

休憩 (10分) (15:00-15:10)

II部. 15:10-17:40 ワークショップ (2時間30分)

4. 知財・キャリアそうぞうワークショップ (10+100分) (15:10-17:00)

冒頭説明 (10分程)：(予習なしチーム向け) 特許の調べ方、読み方 (簡潔に)、学外参加者紹介、など.

※ サブチーム毎にチームワーク (注1)。当日参加者も、自由編成する。

※ 概説：自ら/チームの研究分野/予定研究の先行特許調査 →権利範囲を記述 (注2)

※ 第I部で、知財ワークショップ事例と進め方を説明する予定。

17:00-17:10 (10分) 休憩・準備

5. 学生発表+QA+講評 (5分×(3+α)件) (30分) (17:10-17:40)

<発表>

①研究分野の概観と今回の着眼点(既定・既存)、②特許が述べている範囲、

③自チームの研究の知財強化案? ⇒④一行要約クレーム等、⑤やってみた感想(注4)

※(注3) 研究会にマストな発表者3組を最低限で担保する/有馬研←有馬から参考資料共有し説明(予習)。

a. SC/EC 関連: D2 毛+B4 榎本ら

b. 画像・点群: M2 高田+M1 金原+D1 住谷ら (別途、特微量・画像チーム: 阿井+伊藤+安田+松澤)

c. Product デザインと音商標など: M1 永井+穴戸、別途予習。 (d.ゲーミフィケーションと管理: 渡邊, 住谷)

<講評>個別および全体

III 部. 18:30 頃-20:30 懇親会 (2時間程) (注5)

(自由でより広い交流を。入退出時刻自由)

今回は、つくば駅前がよいと判断し、以下店舗を検討。飲み放題付き(5000円/人)で予約予定。

参加人数把握のため、11/5 までには、参加登録をお願いします。

つくば駅前ビル Bivi つくば3階: [茨城の旬 海鮮 地酒 「むらさき」](https://www.bivi.jp/) 029-828-5015

注1

有馬研 AI4 種サブチーム 3-4 個、企業チーム (≧1)、ほか研究室から有志参加。

(社会工学域が主催する本研究会では、学生の発表3件以上が必須なため予習組あり)

注2: ワークショップの目標:

研究の価値・戦略・機能性・性能(V-S-F-P)の一連を考える基礎体験。想像力・創造力を鍛える課外。

←背景: 理工研究の活動や発表等で、観点が機能性や性能に特化し過ぎ、産業・社会との乖離大きい傾向。

→各自宿題: 今回をきっかけに、自他の研究について思考を広げ深める: V-S-F-P を記述 (=ゴール)

1) 1つ以上、(よい) 先行特許をよむ (II-1: 読み方のコツ)、V-S-F-P 等を整理、対比。

⇒研究・技術と経営・産業の視点の違いを実感する。研究主題の差別化の詰め。

2) 自分達の研究、そもそも、何を権利化、社会実装する、対象とすべきか?、考える。

(BS 法と KJ 法で発散と収束していく体験)

(想像・創造力の開発の大事を改めて意識)

注3

社会工学主催の研究会では、学生発表を3人以上含む必要がある。

そのため、同日に学生発表も含める。日程がタイトですみません。。

注4:

学生さん達の素朴/純粋なご意見や感想を、その実、一番楽しみにしております。

学生さん達の、刺激に対する反応のすばらしさ。学外講師も、そのためにご登壇下さいます。Enjoy!

注5: 有馬研のみで10名程の参加者がおります。安全衛生に留意しながら、よい交流を心掛けましょう。研

究開発やスタートアップの実際、最新の EU 事情、のお話等も伺えるでしょう。

参考:

2023 知財キャリア開発セミナー・WS の様子は、有馬研 HP のメンバーページや活動ページに:

<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/~arima/members.html>

<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/~arima/activity.html>